

開講年次・時期	1年前期	授業回数	30回	時間数	60時間	選択	選択	授業形態	演習	単位数	2単位
---------	------	------	-----	-----	------	----	----	------	----	-----	-----

科目コード	CB220	科目名	簿記論	担当者名	大瀬 雅生 ・ 三浦 輝行
授業の概要	簿記に関する知識と技術を習得させ、簿記の基本的なしくみについて理解させる。				
科目の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・簿記の役割を理解し興味をもつこと。 ・複式簿記の特徴である「貸借平均の原理」に基づいて、さまざまな取引の仕訳と転記のしかたを習得する。 ・簿記の手続きを体系的に理解し、日商簿記3級を受験するための基礎知識を身につける。 				
DPの観点	⑥専門知識・技能(40%)、⑨主体性(60%)				
授業時間外学修(予習・復習)	<ul style="list-style-type: none"> ・「会計サポート」で学んだ基本をもとに、各単元項目ごとの事前学習を60分程度する。 ・単元ごとの課題について実践的な解答に取り組み、確実に学習活動を積み重ねる。 				
フィードバックの方法	各単元ごとの小テストの実施により、各自の理解度の確認をする。				
単位認定の要件	課題提出や小テスト、期末試験結果を総合して評価する。				
評価の方法・割合(%)	期末試験60%、授業内活動20%、授業内提出物20%				
履修上の注意事項	遅刻・早退・欠席については授業内活動として評価する。主体的に演習課題に取り組み、随時行われる日商簿記3級を受験し合格を目指すこと。				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			オリエンテーション(動画活用の学習方法について)	⑨	レポート提出
2			オリエンテーション(テキスト活用の学習方法について)	⑨	レポート提出
3			簿記の基礎 その1損益計算書と貸借対照表	⑥	小テスト実施での確認
4			課題演習と解説	⑨	小テスト実施での確認
5			簿記の基礎 その2取引・勘定・仕訳	⑥	小テスト実施での確認
6			課題演習と解説	⑨	小テスト実施での確認
7			現金預金	⑥	小テスト実施での確認
8			課題演習と解説	⑨	小テスト実施での確認
9			商品売買①諸掛り・仕入れ諸掛	⑥	小テスト実施での確認
10			課題演習と解説	⑨	小テスト実施での確認
11			商品売買②諸掛り・売上諸掛	⑥	小テスト実施での確認
12			課題演習と解説	⑨	小テスト実施での確認
13			債権債務①未払い金・貸付金・借入金	⑥	小テスト実施での確認
14			課題演習と解説	⑨	小テスト実施での確認
15			債権債務②前払金・前受金・立替金・預り金	⑥	小テスト実施での確認
16			課題演習と解説	⑨	小テスト実施での確認
17			手形	⑥	小テスト実施での確認
18			課題演習と解説	⑨	小テスト実施での確認
19			有価証券と固定資産	⑥	小テスト実施での確認
20			課題演習と解説	⑨	小テスト実施での確認
21			資本金と税金	⑥	小テスト実施での確認
22			課題演習と解説	⑨	小テスト実施での確認
23			決算 その1売上原価計算	⑥	小テスト実施での確認
24			課題演習と解説	⑨	小テスト実施での確認
25			決算 その2減価償却	⑥	小テスト実施での確認
26			課題演習と解説	⑨	小テスト実施での確認
27			決算 その3貸倒引当金	⑥	小テスト実施での確認
28			課題演習と解説	⑨	小テスト実施での確認
29			伝票式会計	⑥	小テスト実施での確認
30			課題演習と解説	⑨	小テスト実施での確認
期末試験			期末試験実施		

使用テキスト	日本商業教育振興会会計サポート『日商簿記3級』テキスト
参考文献 参考URL	日本商業教育振興会会計サポート『日商簿記3級講座』解説
備考	

10の観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--